

## 令和3年度 滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上）、B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）、C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）、D：目標をほとんど達成することができなかつた（30%未満）

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会評価
<b>3－1. 地域の経済動向調査に関するこ (目標)</b>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の経済動向分析公表（1回） 国のビッグデータ「RESAS」(地域経済分析システム)を活用して地域の経済動向を分析し、レポートとして年1回公表した。</li> <li>・景気動向分析の公表（2回） 岩手県経済研究「岩手経済研究」や県保証協会「保証月報」、県商工会連合会「中小企業景況調査報告書」等の外部調査データを収集・活用し、市内の景気動向を分析し、レポートとして年2回公表した。</li> </ul>	
項目	現行	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		A
地域の経済動向分析の公表回数	0回	1回	1回	1回	1回	1回		
景気動向分析の公表回数	0回	2回	2回	2回	2回	2回		
<b>3－2. 需要動向調査に関するこ (目標)</b>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・自店舗、朝市を活用したニーズ調査 (BtoC) 下記日程によりアンケート調査を実施した。3社 (延べ4社) 10月 3日 巣子朝市 1社(有)関添食品工業 10月 24日 柳沢朝市 1社(有)ホクブランニング 11月 20日 土日ジャンボ市 1社(行徳養魚場) 2月 16日 自店舗 1社(有)関添食品工業 ニーズ調査結果をフィードバックし、今後商品をブラッシュアップする際に参考にしてもらうこととした。</li> <li>・大学生を対象としたニーズ調査 (BtoC) 下記日程により、岩手県立大学生を対象にアンケート調査を実施した。(3社)</li> </ul>	
項目	現行	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		A
①自店舗、朝市を活用したニーズ調査対象事業者数	一	3社	3社	3社	3社	3社		
②大学生に対するニーズ調査対象事業者数	一	3社	3社	3社	3社	3社		
③展示会、商談会でのバイヤーニーズ調査対象事業者数	一	3社	3社	3社	3社	3社		

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会 評価
4. 経営状況の分析のこと  (目標)	<p>11月 1日 1社 (伊藤牧場)      11月 8日 1社 (百花)      11月 15日 1社 ((株)ぼびん)      ニーズ調査結果を事業者にフィードバックし、ネット販売等を想定した若年層向け新商品の開発に役立ててもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会・商談会でのバイヤーニーズ調査 (BtoC)</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により未実施 但し、岩手県産(株)OBである専門家に依頼し、下記日程で対象事業者に対し主に首都圏での市場動向や商品ニーズについての独自調査の結果を参考にアドバイスを行った。</p> <p>2月 9日 3社</p> <p>・分析件数 63 件      マル経 11 持続化補助金 33 経営革新計画 5      事業再構築補助金 5 経営力向上計画 3      先端設備等導入計画 5 ものづくり補助金 1      主に各種補助金等申請時に SWOT 分析等を行い分析した。</p>	A
5. 事業計画策定支援のこと  (目標)	<p>・事業計画策定件数 63 件      マル経 11 持続化補助金 33 経営革新計画 5      事業再構築補助金 5 経営力向上計画 3      先端設備等導入計画 5 ものづくり補助金 1      ・創業計画策定件数 5 件      ・事業承継計画策定件数 31 件</p>	A

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会評価
<b>6. 事業計画策定後の実施支援に関すること</b> <b>(目標)</b>								B
項目	現行	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
フォローアップ対象事業者数	—	45社	45社	45社	45社	45社	・フォローアップ対象事業者数 63社 ・頻度 255社 ・売上増加事業者数 12社 ・売上総利益率5%以上増加事業者数 3社 商工会で決算指導を行っている事業所の中から対象事業者をピックアップし、令和2年と令和3年を比較した。	
頻度(延べ回数)	—	180社	180社	180社	180社	180社		
売上増加事業者数	—	20社	20社	20社	20社	20社		
売上総利益率5%以上増加事業者数	—	5社	5社	5社	5社	5社		
<b>7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</b> <b>(目標)</b>								B
項目	現行	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
①地元消費者を対象としたテスト販売支援件数	—	3件	3件	3件	3件	3件	・地元消費者を対象としたテスト販売支援 下記日程により支援 10月3日 巣子朝市 1社 (有)関添食品工業 2,160円	
売上額／社	—	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	10月24日 柳沢朝市 1社 (有)ホクブプランニング 12,500円	
②展示会、商談会出展事業者	3社	3社	3社	5社	6社	6社	11月20日 土日ジャンボ市 1社 (行徳養魚場) 3,600円	
成約件数／社	1件	1件	1件	1件	1件	1件	2月16日 自店舗 1社 1,200円	
③インターネット販売の支援件数	—	3件	3件	3件	3件	3件	・展示会、商談会出展事業(ミニ商談会) 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施 但し、下記日程で事前指導やフォローアップを実施し、商品レベルや参加意欲等の把握とパッケージ等作成を支援した。 事前指導等 12月7日・8日(延べ4社)	
売上額／社	—	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円		

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会評価						
	<p>フォローアップ 2月 14～18日(延べ3社)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット販売の支援 (県立大学と連携した支援)</li> </ul> <p>下記日程によりモデル企業のネット販売等販路開拓に係る企画案を最終プレゼンで提案、事業性を検証。</p> <table> <tbody> <tr> <td>1月 17日 1社 (伊藤牧場)</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>1月 24日 1社 (百花)</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>1月 31日 1社 (株)ぼびん</td> <td>25,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・滝沢市商工会事業評価会議の開催：3回 第1回 8月 11日 第2回 12月 10日 第3回 4月 12日</p> <p>・事業の内容について検証、改善 会議での意見を基に事業実施後に担当者レベルで検証や改善について話し合い、次のアクションに繋げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 朝市の結果を踏まえ、自店舗でのニーズ調査・テスト販売を実施</li> <li>② 専門家に依頼し、REASAS 等を活用して地域の実情に即した分岐報告書を作成</li> </ul>	1月 17日 1社 (伊藤牧場)	0円	1月 24日 1社 (百花)	0円	1月 31日 1社 (株)ぼびん	25,000円	A
1月 17日 1社 (伊藤牧場)	0円							
1月 24日 1社 (百花)	0円							
1月 31日 1社 (株)ぼびん	25,000円							

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会評価
<p><b>9. 経営指導員等の資質向上等に関するここと (事業内容)</b></p> <p><b>① 外部研修への参加及び資質向上の取組</b></p> <p>多種多様な支援ニーズと高度化に対応するための支援能力の一層の向上に向けて、引き続き、経営指導員、経営支援員の小規模事業者の事業計画策定、生産性向上や事業承継など小規模事業者の実態に応じた伴走型支援スキル向上を目指す。</p> <p>このため、中小企業大学校が実施する外部研修については、経営指導員のみならず、経営支援員の派遣も行い、事業計画策定に向けた分析手法や支援スキルの習得を図り、滝沢市商工会の支援能力の底上げを図る。さらに、岩手県商工会連合会のエキスパートバンク等専門家派遣を活用し、小規模事業者の相談において、職員が専門家に同行し、指導・助言等のノウハウ（伴走型支援のスキル向上や事業計画策定に向けた分析手法や支援の進め方など）の習得に努め、個社支援による組織的な支援能力の向上を図る。</p> <p><b>② 実践による全職員の資質向上</b></p> <p>支援経験の豊富な岩手県内の商工会地区を広範囲にカバーする岩手県商工会連合会の広域経営指導員や経営指導員と経営支援員とがチームを組成し、巡回指導や窓口相談の機会を活用したOJTを実施する。また、企業に対する専門家派遣支援の際は、職員が同席し、そのスキルを学ぶこととする。さらに、3名のプロジェクトマネージャー（所定の養成研修を終了し、高度で専門的な経営課題に対応可能な人材として、岩手県商工会連合会会长から認定を受けた職員）を中心として、事業計画策定について、OJT等により職員個々の能力を高め、全職員が伴走型の支援ができるように組織機能強化を図る。</p> <p><b>③ 支援ノウハウ等情報の共有化</b></p> <p>職員の異動があった場合でも支援体制を維持するために、個社支援に係る分析結果や支援経過、結果等の情報は、支援等を引き継ぐ経営指導員や経営支援員にとって極めて有用な情報となる。については、事業者情報や指導内容や事業者情報について、滝沢市商工会の経営支援基幹システムBIZミル（事業所基本情報・指導記録管理）を活用し、一元的な管理を行う。また、経営指導員及び経営支援員が伴走型支援を担当している小規模事業者事例や進捗状況を報告する「経営発達ミーティング」（月2回、年間24回）の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業大学校が実施する外部研修未参加</li> <li>・エキスパートバンク等専門家派遣事業の活用 37件           <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画策定 11 商品開発 3</li> <li>販路開拓 7 事業承継 3 労務 3</li> <li>法律 2 IT 7 その他 1</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践による全職員の資質向上</li> <li>持続化補助金経営計画作成支援：職員 6人</li> <li>経営革新計画作成支援：職員 4人</li> <li>持続化補助金や経営革新等の案件を持ったOJT対象者や他の職員に対して、広域指導員や先輩職員がマンツーマンで指導した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援履歴やその定量的把握、財務諸表のデータ蓄積にBIZミルを活用</li> <li>・経営発達ミーティング年間 24回           <ul style="list-style-type: none"> <li>伴走型支援をとおして得た気づきや問題点、改善方法を職員間で話し合い、支援ノウハウの共有に繋げた。</li> </ul> </li> </ul>	A

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会評価
<p>開催を通して、職員間の支援ノウハウの共有や計画目標達成にむけたアドバイス等を相互に行い、支援能力の強化を図る。</p> <p>10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関するこ (事業内容)</p> <p>① 滝沢市商工振興実務者連絡会の開催（年1回）</p> <p>滝沢市商工会と滝沢市は市の商工業の振興を図るために、「滝沢市商工振興実務者連絡会」を平成17年（2005）から設置している。会議は、滝沢市商工会職員と滝沢市経済産業部企業振興課、観光物産課、農林課職員とで年1回開催している。会議では、「産業振興」、「地域振興」、「連携事業等」について話し合っていることから、引き続きこの会議を活用すると共に、市役所の担当職員と経営指導員等滝沢市商工会スタッフの連携を強化し、合意された連携の方策及び役割について、各々の組織における方針・方向性に照らし合わせ、滝沢市商工会においては、市内企業が求めている具体的な支援課題に対応すると共に、職員の支援能力の構築を図る。</p> <p>② 市内の大学との連絡会の開催（年1回）</p> <p>滝沢市商工会と市内2大学（盛岡大学、岩手県立大学）との連携ネットワークの構築に向けて、知的資源の活用、大学のシーズと地域のニーズのマッチングなど、市内商工業に対する意見交換の機会を設け、産学の協働、地元就職、インターンシップ等を促すための協議を行う。また、個別課題については、担当レベルでの検討を進めるものとし、一連の取組を通じて、連携による商工業発展に向けた共通認識を得ると共に、市内の企業に対する支援能力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市商工振興実務者連絡会の開催（1回） 10月13日開催 滝沢市経済産業部と互いの事業について意見交換をし、課題の共有とコロナ禍での連携を図った。</li> <li>・市内の大学との連絡会の開催（年1回） 下記日程で事前打ち合わせを行い、その後オンラインで岩手県立大学、盛岡大学担当者との意見交換会を実施した。 (事前打ち合わせ) 10月25日 県立大学キャリアセンター 11月1日 盛岡大学就職千センター (市内2大学との意見交換会) 3月22日 オンライン開催 テーマ：「学生の滝沢市内就労意欲の向上並びにインターンシップ促進に向けた連携について」</li> </ul>	A

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会評価
<p>1.1. 地域経済の活性化に資する取組に関すること (事業内容)</p> <p>① 滝沢市観光イベント事業の連携及び情報発信（年3回） チャグチャグ馬コまつり、スイカまつり、滝祭（TAKI-SAI） 滝沢市、滝沢市観光協会、滝沢市商工会の3団体が連携を密にし、関係人口の増加及び地域の活性化を目的とした観光イベントを年3回開催する。 滝沢市商工会は実行委員会の事務局及び構成員として、各イベントの賑わい創出のための出展の取りまとめや関係団体との連携によるホームページ、SNS等を活用した情報発信を強化するための支援を通して市内の交流人口増加と地域活性化を図る。</p> <p>② 企業間連携フォーラムの開催（年2回） 滝沢市商工会と市が共催し、市内における企業間の連携及び新型コロナウイルス感染症により疲弊し、厳しい経営環境にある小規模事業者のICT・IoT導入による生産性向上を推進するため、誘致したIT・物流・製造企業や大規模事業所等との新たな交流の場を設けるため各種フォーラムを開催する。</p> <p>③ 滝沢市商工会青年部と連携した仕事マッチングフェアの開催（年1回） 市内商工業者の認知度の向上や地元企業への定着率の向上を図り、滝沢市での就業人口の確保につなげることを目的として、商工会青年部と連携し実施する。滝沢市商工会は、内部組織であり事務局を担っている、若手経営者及び若手後継者の集まりである滝沢市商工会青年部を中心に、滝沢市、市内教育機関と連携を図り、この事業を実施することで、人材確保の面から地域経済の活性化に寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャグチャグ馬コまつり 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止</li> <li>・スイカまつり 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止</li> <li>・滝祭（TAKI-SAI） 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業間連携フォーラムの開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事マッチングの開催（1回） 下記日程で開催した。 2月23日（水）祝日 参加企業数 17社 来場者 73名(延べ企業訪問者数 172名) 終了後の個別対応 32名 採用予定者 16名</li> </ul>	C
総合評価		B